

令和5年1月

魚津市定例記者会見



日時：令和5年1月4日(水) 午後1時30分～午後1時55分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、NHK、KNB、NICE-TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、情報広報課長

1. 市長からの発表事項

(1) 書かない窓口サービスの運用を開始します

- ・今年度の当初予算に計上したDXの取組の一環として、書かない窓口システムを1月25日(水)から運用開始する。これまでは、各種証明書の申請や手続きの際に、窓口ごとに氏名・住所等を書く必要があったが、マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類を窓口で提示することにより、氏名、住所、生年月日が印字された申請書が作成されるようになる。
- ・また、事前申請受付サービスも可能になる。あらかじめ自宅などで市公式LINEや市ホームページなどを通じて手続き内容を登録し、作成されたQRコードを窓口でかざすことにより、申請書や必要な手続きの案内用紙が印刷される。これにより窓口での手続き時間がさらに削減できる。
- ・端末設置窓口は、市民課（市民係・医療保険係）、社会福祉課（介護保険係・福祉係、こども課（子育て支援係）、税務課の4課となっている。別紙のとおり26の手続きの帳票に対応している。
- ・マイナンバーカードや運転免許証等を提示していただくことで、職員が端末を操作し、申請書を作成する。申請者は、作成された申請書をタブレット上で確認し、タブレットで署名を行う。実際の流れについては窓口で職員がサポートする。
- ・このサービスは令和3年度に策定した魚津市DX推進計画に基づいて進めているもの。併せてデジタルデバインド対策など、誰でも利用できる地域社会のDX化も進めていきたい。

- (2) (仮称) 魚津市本江地域交流センターの愛称を募集します
- ・愛称は、簡潔明瞭で覚えやすく親しみやすいもの、施設の機能・特徴などを踏まえたもの、未発表のものを広く市民の方々から募集する。
 - ・応募方法は、募集チラシのQRコードなどからWEBの応募フォームにアクセスして、愛称やその愛称の説明など必要事項を入力するか、応募用紙に直接記入のうえ持参又は郵便、FAX、電子メールにて応募できる。応募期限は2月28日(火)まで。
 - ・愛称の採用者へは、記念品として魚津市の電子地域通貨MiraPay(ミラペイ)1万円分が贈られる。
- (3) 市役所での税申告相談にスマホ(LINE)による事前予約制を導入します
- ・来月から実施する税申告相談会場内での滞在時間の短縮・混雑解消を図るため、「スマホ(LINE)による事前予約制」を導入する。また、事前予約なしで当日来場される方には、受付予定時間をお知らせする「入場整理券」を配付し、会場内での待ち時間の短縮を図る。
 - ・税申告相談の期間は2月16日～3月15日まで。時間は午前8時30分～午後4時30分まで。会場は市役所3階大会議室。
 - ・スマホ(LINE)での事前予約については、2月1日(水)から受付を開始する。予約の方法は、①魚津市LINE公式アカウントを友達追加(登録)し、予約メニューの中から税申告相談の事前予約を選ぶ。②予約する日時を30分単位で選択し、氏名、電話番号を入力する。④最後に内容を確認すれば予約完了となる。
 - ・入場整理券の配付については、当日の午前8時30分から税申告相談会場受付で当日分のみ配付する。
 - ・その他詳細は市広報2月号、市HPでお知らせする。
- (4) 魚旅×MiraPayキャンペーン(第3弾)の実施について
- ・魚旅×MiraPayキャンペーンについては、第1弾を7月～10月まで、第2弾を11月～2月まで実施しているが、好評のため第3弾を追加実施する。冬場に閑散期となる宿泊利用者や観光消費の底上げを図り、応援していく取り組みとしたい。
 - ・事業内容は第2弾と同じで、9,000円相当のミラペイポイント(宿泊6,000円分+観光3,000円分)を3,000円で購入できる。なお、国の旅行支援は年明けから支援割合が半分に落ちるが、市の支援は据え置きで実施する。
 - ・販売数は約1,000人分。専用HP、郵送、FAXで1人2枚まで申し込みできる。申込開始は1月10日の11時からで、販売予定枚数に達し次第、申し込みを締め切る予定。引換販売期間は1月25日～2月28日まで。使用期限は2月28日までとなっている。

(5) 電子地域通貨 MiraPay（ミラペイ）プレミアムチャージキャンペーンの実施について

- ・令和4年度の9月補正で予算化され、実施しているが、まだ予算枠に余裕があるため、引き続きキャンペーンを実施するもの。前回と異なるのは、前回はチャージしてから使用した金額を基にポイントを付与したが、今回はチャージした時点でポイントの付与対象となる。
- ・チャージ受付期間は1月2日～1月31日まで、還元ポイント利用期間は2月15日～令和5年3月15日まで。ポイント付与率は、ミラペイアプリの利用者は上限6,000ポイントで30%を付与され、ミラペイカードの利用者は上限3,000ポイントで15%を付与される。なお予算に達し次第、キャンペーンは終了となり、その場合は市ホームページで案内する予定。
- ・仮にすべての利用者が付与率の高いアプリを利用して、上限額の2万円をチャージした場合、予算内で約3000人にポイントを付与できる計算となっている。

(6) ノーネクタイ等働きやすい服装の通年実施の試行について

- ・本市では、5月から10月までの期間について、上着やネクタイの着用を必要としない、いわゆるクールビス期間としてきた。このたび、働き方改革の一環として、上着やネクタイの着用という慣例にとらわれず、個々の状況に応じた働きやすい服装で業務の効率化を図ることを目的に、ノーネクタイ等の通年実施に向けた試行期間を設けることとした。
- ・試行期間は1月1日から4月30日まで（5月以降は通常のクールビス期間）。期間中においては、ネクタイ、上着の着用は必要ないが、社会常識を逸脱することのない節度のある服装とする。なお上着やネクタイの着用を禁止するものではない。
- ・試行期間終了後、市民等からの意見を参考として衛生委員会等で通年実施に向けた協議を行い、翌年度以降の実施を決定したい。
- ・ちなみに本日の私の服装はノーネクタイの試行をイメージしている。

(7) 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト

1月に開催する「親子体験会」はこちら

- ・春から7つのコースで1年間にわたり行ってきたが、いよいよ今回が今年度の最終回となる。「やさい(ハウス野菜)」について学ぶコースで、1月21日(土)の10:00から魚津市川縁のゆかり営農組合で「白ねぎ」の収穫と出荷作業の体験を行う。
- ・この取り組みは好評であり、今後も、子どもたちに特色ある魚津の農林水産業を知ってもらうこの取り組みを進めていきたい。

(8) 魚津市・黒部市連携 転入者向け雪道ドライビング講習会の実施について

- ・平成30年度から黒部市と連携して実施しており、今年で5年目となる。雪道の運転に不慣れな都市部等からの転入者向けに雪道ドライビング講習会を実施する。1月31日に黒部自動車学校で開催予定。募集人員は先着順15名で、受講料は無料。申込の締切日は1月24日(火)となっている。

2. 質疑応答の内容

「書かない窓口サービス」について

《記者からの質問》

対象となる26種類の帳票が選ばれた基準は何か。市ホームページを通じて登録する場合の本人確認はどうするのか。このサービスの県内での導入状況は？

《回答》(市長)

対象となる帳票は、申請書の年間の提出数が多いもの、市民が来庁された際に複数の書類を提出しなければならないものなどを選んだ。本人確認については、来庁された際に窓口で行うものとし、マイナンバーカードのICチップ上の情報の活用などは行わない。記載事項の確認やサインは本人がタブレット端末上で行う。この書かない窓口サービスの導入は全国では事例があるが、県内では魚津市が初めてとなる。

「ノーネクタイの通年実施の試行」について

《記者からの質問》

市議会の議場においてもノーネクタイの通年実施は試行されるのか。また試行期間が終了し、通常のクールビズ期間も終了する11月からはどうする予定か。

《回答》(市長)

市議会については、市職員の服装のルールではなく、市議会独自のルールが適用される。夏場はジャケット着用・ノーネクタイ可、冬場はジャケット・ネクタイ着用となっている。市職員のノーネクタイの通年実施を11月以降も実施するかについては現在のところ未定。

「Mirapay (ミラペイ) プレミアムチャージキャンペーン」について

《記者からの質問》

最初の予算額とこれまでに使った(市民に還元した)額について知りたい。

《回答》(市長)

9月補正で3000万円が予算化され、1回目のキャンペーンで約1100万円が使われ、残りが約1900万円となっている。

「マイナンバーカードの申請状況」について

《記者からの質問》

各市町村のマイナンバーカードの申請率によって国からの交付税に差をつける案が聞かれるが、そのことについてどう思うか。

《回答》（市長）

現段階では詳細は把握していない。しかし（申請率が悪いことによって）交付税が現状よりマイナスになるとは聞いていない。がんばって申請率が他の自治体に追いつけるようにしたい。